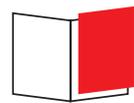


要点チェック



赤シート付き

# 歯科技工士国家試験対策

## 全国統一国家試験完全対応

4

# 有床義歯技工学



医歯薬出版株式会社

 知識の整理と重要事項

## A 構成要素

全部床義歯は**義歯床**と**人工歯**から構成される（図2-1）。

## 1. 義歯床

人工歯以外のすべての部分で、歯槽部を回復し、人工歯を保持する。歯槽部のほか、床翼部や上顎の口蓋床からなる。

役割は、顎堤粘膜と接触して義歯を口腔内に**維持**するとともに、人工歯に加わる咬合力を義歯床下の**顎堤粘膜**に伝えることである。

義歯床の表面は部位により**義歯床粘膜面**（基底面）、**義歯床研磨面**、**床縁**に分けられる。

材料には**レジン**、**金属**などが用いられる。

## 2. 人工歯

天然歯列の存在していた場所に相当する部分で、**陶材**、**レジン**、**金属**などが用いられる。

臼歯部は、強靱で解剖学的・機能的形態を備えており、前歯部は、**審美性**を満たす。

## B 分類

## 1. 床用材料による分類 (a)

## 1) レジン床義歯

義歯床部がすべてメチルメタクリレートレジンで構成されている。色調が豊富で審美性がよく、圧縮強さ、曲げ強さ、弾性率が良好である。しかし、**衝撃強さ**に劣り**吸水性**が大きい。

## 2) ポリスルフォン床義歯

義歯床部がすべてポリスルフォン樹脂で構成されている。

ポリスルフォン床義歯はレジン床義歯に比べ、強靱で熱に強い。

## A 構成要素

- 問1 天然歯列の存在していた場所に相当する義歯の構成要素は
- 問2 答1の製作に用いられる材料は
- 問3 全部床義歯の構成要素のうち、答1以外の部分は

- 答1 人工歯
- 答2 ①陶材, ②レジン, ③金属など
- 答3 義歯床

## B 分類

- 問4 レジン床義歯とは
- 問5 金属床義歯とは
- 問6 抜歯創が完全に治癒した後の安定した粘膜状態に合わせて製作される義歯は
- 問7 最終義歯が装着されるまでの間、一定期間だけ装着される義歯は
- 問8 抜歯前の作業用模型上で抜歯後の状態を予想して製作し、抜歯後ただちに装着する義歯は
- 問9 最終義歯が装着されるまで、咬合高径の改善や義歯に対して慣れるために装着する義歯は
- 問10 人工歯の追補や義歯床の修理に容易に対応できるようにした義歯は

- 答4 義歯床部がすべてメチルメタクリレートレジンで構成される義歯
- 答5 義歯床の一部または大部分が金属で構成されている義歯
- 答6 最終義歯（本義歯）
- 答7 暫間義歯（仮義歯）
- 答8 即時義歯
- 答9 治療用義歯
- 答10 移行義歯

## C 維持、安定と支持

- 問11 義歯の物理的維持とは

- 答11 ①接着, ②粘着, ③吸着

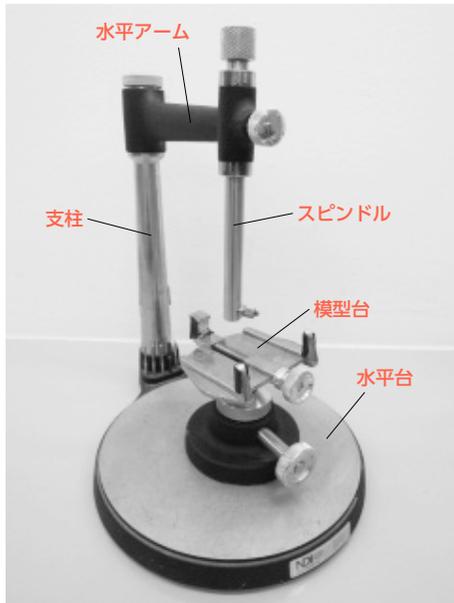


図 12-1 サベイヤーの構造

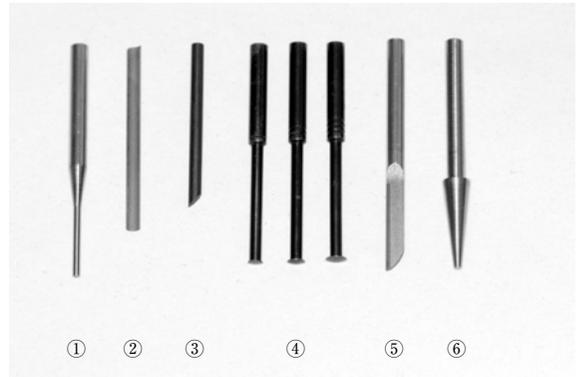


図 12-2 サベイヤーの付属品

①アナライジングロッド (測定杆), ②補強鞘, ③カーボンマーカー (炭素棒), ④アンダーカットゲージ (左から 0.75mm, 0.50mm, 0.25mm), ⑤フックストリマー, ⑥テーパートゥール

② 支柱

水平台と水平アームを連結している部分で、水平台に**垂直**に立っている。

③ 水平アーム

支柱から水平台と**平行**にのびる。

④ スピンドル

水平アームの先のスムーズに上下運動ができる部分で、この先端に各付属品を取りつける。水平台に対して**直角**になっており、この方向が義歯の着脱方向となる。

⑤ 模型台

研究用模型もしくは作業用模型を取りつける。

(2) 付属品 (図 12-2)

① アナライジングロッド (測定杆)

義歯の着脱方向などを決めるために用いる。

② カーボンマーカー (炭素棒)

模型にサベイラインを描記するのに用いる。

③ 補強鞘

カーボンマーカー (炭素棒) の破折を防止する。

④ アンダーカットゲージ

クラスプの維持力に関わる水平的なアンダーカット量を測定するために用いる。通常、**0.25 mm**、**0.50 mm**、**0.75 mm** の 3 種類がある。